



山梨県立都留高等学校
つる探松田ゼミ

山梨県大月市大月2-11-20

TSURUTANプロジェクト
～ 郡内織の新たなビジネスモデルの提案～



【郡内織タンブラー】

郡内織は、富士吉田市や都留市などで1000年以上続く伝統的な絹織物で、山梨県が誇る伝統文化産業であったが、近年は需要の低下から各業者の倉庫に大量の端切れが眠っているという地域課題がある。都留市の事業者からの相談があったこと、またSDGsの観点から、大量に眠っている端切れを「消費する」ことを最大の目的に設定し、市の事業者と高校生がコラボレーションして、郡内織を活用したタンブラーをプロデュースし、制作及び販売に至った。現在は地域のイベント等で販売しており、今後は都留市のふるさと納税の返礼品として登録される。さらには県内に多く訪れる外国人観光客への販売も計画しており、販路拡大を目指して業者と打ち合わせ中である。